

三重県障害者自立支援協議会への報告（地域移行課題検討部会）

令和3年2月17日

1 開催状況

日時：令和3年1月15日（金）10：00～12：00

場所：三重県合同ビル2階 G201会議室

出席状況：委員5名、関係者1名 出席

2 委員構成

- ・有限会社 With A Will 市川 知律 氏
- ・社会福祉法人維雅幸育会ふつくりあまオンライン 奥西 利江 氏
- ・津市立三重短期大学 北村 香織 氏
- ・社会福祉法人三重済美学院 済美寮 黒田 伸 氏
- ・社会福祉法人愛恵会 相談支援事業所こだま 島 優子 氏
- ・特定非営利活動法人ピアサポートみえ 杉田 宏 氏
- ・社会福祉法人聖マツヤヤ会 津市基幹障がい者相談支援センター
増田 登志子 氏

3 検討経緯

平成30年度に障害福祉サービスにおける共同生活援助の新類型として、日中サービスマシキ支援型共同生活援助が創設された。当該事業は、短期入所を併設し地域で生活する障がい者の緊急一時的な宿泊の場を提供することとされており、施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活の中核的な役割を担うことが期待されている。

なお、日中サービスマシキ支援型共同生活援助事業の実施においては、地域に開かれたサービスマシキとすることにより当該サービスマシキの質の確保を図る観点から、地方公共団体が設置する協議会等で、定期的に事業に対する評価及び助言を受けなければならぬとされている。

令和2年12月1日現在で県内に3カ所の日中サービスマシキ支援型共同生活援助事業所が設置されているが、評価及び助言を行う市町では仕組みが整っていないことから評価の実施に対する戸惑いが見られ、当該事業の機能が十分に発揮されているか危惧される現状がある。

本部会では令和元年度から協議会等での評価及び助言を行う仕組みづくりについて検討し、各市町での円滑な実施を支援するために評価シート及び手順書の雛形の作成に取り組むこととなった。

4 検討内容

先行して評価を実施している自治体の様式等を参考のうえ事務局で原案を作成し、それに対する委員の意見等を踏まえ別紙の評価シート及び手順書の雛形を作成した。

5 本会への提案

本部会において作成した日中サービス支援型共同生活援助事業にかかる評価シート及び手順書、並びに今後の運用について、ご意見をいただきたい。